

参考3

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」見直し

- ① 人生の最終段階における医療およびケアについては、医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が**多専門職**の医療・介護従事者から構成される**医療・ケアチーム**と話し合いを行い、本人による意思決定を基本として進めることが最も重要な原則
- ② **患者の意思は変化するものであることを踏まえ**、医療・ケアチームにより、患者が自らの意思をその都度示し、伝えられるような支援が行われ、**本人との話し合いが繰り返し行われることが重要**
- ③ 本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、**家族等の信頼できる者も含めて話し合いが繰り返し行われることが重要**。話し合いに先立ち、**患者は特定の家族等を自らの意思を推定するものとして前もって定めておくことが望ましい**。



※本人、家族等との話し合いは繰り返し行う  
話し合った内容はその都度文書にまとめておく

